

## 主要手段6

# 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

## 具体的手段(1) 子どもたちが豊岡のことをよく知っている

「子どもの野生復帰大作戦」や「生きもの共生の日」の取組みを通して、豊かな自然体験をすることや豊かな発想や命を大切にする心、さらに“ふるさと豊岡を愛する気持ち”を育んできました。

さらに、自分の将来の生き方を考えるため、先進産業の職業人の講話を聞き、夢の実現を具体化していくキャリア学習などに取り組んでいます。

豊岡にも素晴らしい自然、歴史、伝統、産業などがあります。そのことを学び、楽しむことを通じて、子どもたちの本市への愛着と誇りを育む「ふるさと教育」に取り組んでいきます。

### 基本構想

#### ■取組方針

子どもたちに普遍的な知識や法則ばかりを教えることに偏っては、子どもたちがローカル固有の知識や知恵を軽んじ、ひいてはローカルそのものを軽んじるようになって、東井義雄先生の言われる「村を捨てる学力」につながってしまいます。

豊岡の素晴らしい点を学び、普遍的知識を活用して地域を理解する体験を重ねることによって、「村を育てる学力」が身についていきます。

地域に根ざしながら、広く世界を学び、経験し、その上で地域に貢献する人材の育成に努めます。

ア 学校園でのふるさと教育が充実している

イ 地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

### 市政経営方針

## ア 学校園でのふるさと教育が充実している

ふるさと教育を通して、様々なふるさとの魅力を知ることができます。豊岡の生きもの、自然、文化、伝統、世界に誇る企業、名を遺した先人、また、それらのひと、もの、ことを通じて、関わりのある広い世界を知る取組みを進めます。

### 【4年間の事業例】

- 小中一貫教育によるふるさと教育を推進します。

等

## イ 地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

子どもたちが、ふるさとを実感し、記憶に焼きつけるため、地域コミュニティや関係団体と協力して様々な体験を提供します。それは、将来のあらゆる場面で、子どもたちを助けるアイデアに結びつきます。

### 【4年間の事業例】

- 子どもの野生復帰大作戦を通して、挑戦心を育みます。
- 地域の魅力を知る機会（まち歩きなど）をつくり、子どもと大人が交流する機会をつくります。
- 生きもの調査や自然観察会等を通じて、豊岡市の豊かな自然環境を学ぶ機会をつくります。

等

## 目標値

具体的手段(1) 子どもたちが豊岡のことをよく知っている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合	小学生 65.3% 中学生 59.9%	小学生 70% 中学生 70%

## 主要手段6

## 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

### 具体的手段(2) 子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

但東中学校では、ふるさと豊岡の価値ある産業や文化、自然などについて学んだ成果を、修学旅行における東京アンテナショップの商業体験活動を通じて発信しています。

また、同地域内で行われている「イングリッシュ カフェ」は、英語で自分たちのふるさとを世界に伝えたいという地区の思いで、中学生や高校生が運営の中心的な役割を担い、遊びや日常生活の場面を通して、幼児や小学生に楽しく英語を学べる場をつくっています。

私たちは、地域のさまざまな機会を通して、子どもたちがかけがえのない存在として自らの存在意義を実感できる場—コミュニティを持つことができるように、子どもたちがまちの中でさまざまな役割を持ち、責任を果たすことができる機会を提供していきます。

#### ■取組方針

役割は他者からの期待であり、他者からの期待は、人を支え、育てます。子どもたちも同様です。子どもたちが、今それぞれのやり方で家族や地域や人々の役に立つ経験を通して、子どもたちの人間的成長を促します。

ア 子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている



イングリッシュカフェ（但東町高橋地区）

## ア 子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている

子どもたちも、家族の一員として、また、地域の一員・担い手として役割を持ち、活躍できる場や機会を提供します。また、子どもたちのやる気を支え育む人材を増やします。

### 【4年間の事業例】

- 顔見知り運動（夏休みラジオ体操）を推進します。
- 子どもたちが地域の伝統・文化等を継承できるように支援します。
- 市民総参加訓練、自主防災活動への参加を促します。

等

## 目標値

具体的手段(2) 子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
地域の行事に参加している児童・生徒の割合	小学生 90.3% 中学生 67.5%	小学生 95% 中学生 75%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合	小学生 38.2% 中学生 27.9%	小学生 45% 中学生 40%
地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童・生徒の割合	小学生 51.6% 中学生 72.8%	小学生 65% 中学生 85%

## 主要手段6 子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

### 具体的手段(3) 子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

平成 29 年度（2017 年度）、本市は、すべての小中学校に外国語指導助手を配置し、小学 1 年生から英語の授業を始めました。保育園、幼稚園、認定こども園での英語遊び保育との連続性を持たせ、外国語指導助手と英語に親しむことを通じて英語を身につける機会をつくります。

また、自分たちで演劇を作り、演じることを通じて、表現力や合意形成能力を身につけ、相互理解ができる力を育てるため、「コミュニケーション教育」を進めます。

これらの取組みを通して、性別や年代などを越えた対等な関係の中で、自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成していきます。

#### ■取組方針

異質な他者との積極的な出会いを通じて、他者理解と自己理解を育み、子どもたちの成長を促します。

ア 子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる



英語遊び保育

## ア 子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

人と人との関りを通じて、自分の思いを伝える力や、他者の思いを理解できる力を育み、コミュニケーション能力を高めていきます。

また、コミュニケーションツールとしての英語教育を実践します。

### 【4年間の事業例】

- 英語遊び保育、ALT のサポートによる英語教育を推進します。
- コウノトリ野生復帰で取材や視察に訪れる外国人と子どもたちとの交流を促進します。
- 学校訪問コンサート（おんぶの祭典）で様々な人と子どもたちとの交流を促進します。
- コミュニケーション教育を充実します。
- 城崎国際アートセンター利用者と子どもたちとの交流を促進します。
- 未来を創る高校生支援事業を実施します。

等

## 目標値

具体的手段(3) 子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
中学校卒業時の英語検定3級以上の合格者数	19.9% (28年度)	50%
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童・生徒の割合	小学生 72.8% 中学生 62.2%	小学生 90% 中学生 80%
話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	小学生 72.2% 中学生 64.8%	小学生 80% 中学生 75%